令和８年度　高校生のためのオープンクラス　開講科目一覧

性差と人間社会　担当教員：教授／浦野　茂

（教養・基礎科目）選択　１年次後期

性別や性差が関わる社会関係（恋愛、結婚、家族、就労、医療、差別、暴力など）とその問題について理解することが、この授業の目的です。性別や性差に関わる現象はともすると自然現象として片付けられがちです。しかしこの授業ではジェンダーの概念を学ぶことを通じて、これらが社会現象であり、したがって私たちの社会の仕組みの課題として捉え直すことを目指しています。

1月５日（火）　１限目　９：00～10：30

行政と医療政策　担当教員：准教授／森下　直紀

（教養・基礎科目）自由　２年次後期

日本の医療制度の枠組みをその歴史的発展も含め理解するとともに、行政の役割について理解を深める。

1月5日（火）　２限目　10：40～12：10

基礎看護技術Ⅲ（フィジカルアセスメント）

担当教員：助教／多久和　有加

（専門科目）必修　１年次後期

さまざまな健康レベルにある人に適切な看護を行うために、対象の身体状態を客観的かつ正確に把握する基本技術（問診、視診、 触診、打診、聴診）を修得する。

1月5日（火）　３限目　13：00～14：30

成人・老年看護方法Ⅲ（老年）

担当教員：助教／田端　真

（専門科目）必修　２年次後期

高齢者のストレングスを活かした看護実践を考えるために、口腔衛生や排泄介助など高齢者の生活機能を維持・向上するための看護について理解を深める。また、老年期に多い健康障害が及ぼす高齢者の生活機能の変化や支援について考える。さらに、高齢者を対象とした地域包括ケアシステムや災害看護活動についても考える機会とする。

1月５日（火）　３限目　13：00～14：30

生涯発達心理学　担当教員：教授／小池　敦

（専門支持科目）必修　１年次後期

看護の対象が誕生から死に至るまで成長発達的な変化を遂げる人であると考えると、ライフサイクルの各段階に特徴的にみられる心理や行動について理解を深めることは、看護を学ぶ上で不可欠であろう。この授業では、人間を受精から死に至るまで、生涯にわたって発達的変化を続ける存在として位置づけ、環境との関わりの中で、さまざまな心的機能がどのように発達的変化を遂げていくか理解を深める。その中で、ライフサイクルの各段階に応じた看護の必要性について意識を高め、生涯発達心理学の知見を看護方法の中でどのように活用するか考える。

1月６日（水）　１限目　９：00～10：30

生化学　担当教員：教授／林　辰也

（専門支持科目）必修　１年次後期

看護師として、看護の対象となる人間の形態や機能、仕組みに関する知識は、患者様の病態を理解する上で極めて重要であるのみならず、その病態に対応した適切な看護の遂行に不可欠である。本講義で、人体における様々なホメオスタシス（恒常性）維持のための調節系と生命維持のために行われている一連の化学反応を学び、極めて巧妙に制御・調節されている人体の仕組みを理解する。

1月６日（水）　２限目　10：40～12：10

形態機能学Ⅲ　担当教員：准教授／灘波　浩子

（専門支持科目）必修　１年次後期

形態機能学Ⅰ、Ⅱ、Ⅳとあわせ、解剖学と生理学の知識や考え方に触れ、看護の基礎となる人間の形態と機能について学ぶ。ここでは、循環器系や腎機能について学ぶ。

1月6日（水）　３限目　13：00～14：30

基礎看護技術Ⅱ（日常生活の援助技術）

担当教員：准教授／灘波　浩子

（専門科目）必須　１年次後期

対象者の生活上のニーズを満たすための看護援助について、科学的根拠に基づき安全・安楽に実施する技術を、主体的な学習により修得する。本時は排泄の援助を学ぶ。

1月7日（木）　３限目　13：00～14：30

４限目　14：40～16：10



202６(令和８)年度
シラバスより